

EUSI メールマガジン Vol. 048

「2014年欧州議会選挙結果 統合支持多数とまだら模様」(田中俊郎)

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムによるEUに関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)
http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/

【EUSI Commentary Vol. 033】

「2014年欧州議会選挙結果 統合支持多数とまだら模様」

田中俊郎 (慶應義塾大学名誉教授、ジャン・モネ・チェア、EUSI 理事)

本年5月22日から25日にかけてEUの28構成国において欧州議会選挙が行われた。1976年に欧州議会選挙法が制定され、1979年から任期5年の欧州議会議員が直接選挙で選出されてきた。1976年の欧州議会選挙法は、選挙の原則(普通、自由、秘密投票、比例代表制)など大枠のみを規定し、構成国が個別の欧州議会選挙細則を定めており、そのため多様な選挙となっている。

結果公表の日時を含めて選挙日程はEUで決定されるが、選挙日と投票時間、選挙人登録の必要性や期限などは各構成国が決定する。

投票が義務的な国もあれば、義務的ではない国もあり、選挙区も全国1区から複数の地域ブロック(例えば英国は12)に分割されている国もあり、選挙権は18歳以上であるが、唯一例外のオーストリアのように16歳からの国もあり、立候補できる被選挙権も18歳以上が多いが、21歳、23歳、25歳の国もある。

比例代表制でも、政党だけでなく候補者も選べる非拘束式(open list)の国が多数であるが、政党内部の名簿順位が決定されている拘束式(closed list)の国(フランス、ドイツ、北アイルランドを除く英国など)もあり、単記移譲制(Single Transferable Vote system)をとる国(アイルランドやマルタ)や地域(北アイルランド)もある。

全国レベルで最小投票獲得率の敷居(1.8%から5%まで)を設定し、少数政党分裂を避けようとする国もあれば、足切りを設定しない国もある。

議員定数は、1979年410から、その後の拡大で大幅に増員され、2012年7月のクロアチア加盟に伴い766に膨らんでいる。

2009年12月に発効したリスボン条約では、定数が751(議長を含めて)と削減され、最大96議席(ドイツ)、最小6議席(マルタ、ルクセンブルク、エストニア、キプロス)の間で、人口比例で配分されるが、小国に手厚く配分されている。

ただ、議席は国別に配分されるが、議員は、国家横断的で、政治信条を同じくする政治党派(political group)を形成して活動を行う。

今回の2014年選挙で注目すべきは、まず選挙結果である。

...

(続きはこちら↓)

<http://www.hit-u.ac.jp/kenkyu/eusi/eusicommentary/vol33.pdf>

【EUSI イベントご案内】

1. EUSI 津田公開講座「欧州議会選挙と極右・欧州懐疑主義」

日時: 2014年6月14日(土) 13:00-17:00

場所: 津田塾大学 小平キャンパス 1号館大会議室

講演:

「右翼ポピュリスト政党は、なぜEUに反発するのか？」

古賀光生 (二松学舎大学専任講師)

「欧州議会選挙とバルト諸国の右翼政党・ポピュリスト政党」

中井遼 (立教大学助教)

「イギリスにおける新興政党の伸張『欧州懐疑主義』？」

若松邦弘 (東京外国語大学教授)

司会・開会挨拶: 網谷龍介 (津田塾大学教授)

参加: 無料・申込み要

申込・問い合わせ先: EUSI 津田分室 eusi@tsuda.ac.jp

<http://eusi-politics.tumblr.com/post/85906140105/eusi-2014-6-14>

2. EUSI 津田公開講座「EUにおける移民政策・多文化主義」

日時: 2014年7月12日(土) 13:00-17:00

場所: 津田塾大学小平キャンパス 7号館 7101教室

講演:

「ドイツにおける移民統合と多文化主義」

昔農英明 (津田塾大学・一橋大学非常勤講師)

「オランダにおける多文化主義とトルコ系イスラーム組織・クルド組織の活動」

寺本めぐ美 (津田塾大学大学院)

「スウェーデンの移民政策と多文化社会の現状と問題点」

清水謙 (東京大学大学院)

討論: 浪岡新太郎 (明治学院大学准教授)

司会・開会挨拶: 網谷龍介 (津田塾大学教授)

参加: 無料・申込み要

申込・問い合わせ先: EUSI 津田分室 eusi@tsuda.ac.jp

【EUSI からのお知らせ(イベント以外)】

EUSI スカラーシップ・インターンシップ 2014 (EUSI 加盟大学大学院生対象)

EUSI は、EU に関わる研究の遂行を目的に欧州へ渡航する大学院生を対象に奨学金を支給します。以下の募集要項に従い、奮って応募してください。

対象者: 一橋・慶應・津田塾の各大学院(課程修了者含む)で EU 研究を行う者
研修先機関:

- スカラーシップ: EU 加盟国内の大学・教育研究機関・EU 諸機関・補助機関等
- インターンシップ: EU 諸機関・補助機関優先、その他 EU 関連 NGO・企業も可

奨学金: 1人につき上限 52 万円 (渡航費と日当)

派遣期間: 2014年8月1日-2015年7月31日の間で研究に必要な期間

応募書類: 申請書、研究履歴、研究計画、研究日程表、推薦状、支出計画書

募集期間: 2014年5月8日(木)-6月20日(金)

選考機関: 2014年6月23日(金)-6月27日(金)。面接の日時は事前に本人に通知

選考結果: 2014年7月1日(火)発表

EUSI スカラシップについてはこちら

http://eusi.jp/content_jp/education/scholarship/

EUSI インターンシップについてはこちら

http://eusi.jp/content_jp/education/internship/

【EUに関するニュース】

2014年5月16日 アシュトン EU 上級代表、国際反ホモフォビア・反トランスフォビアの日に向け差別反対の声明

2014年5月16日 アイスランドとノルウェー、EU の研究・イノベーション計画「HORIZON 2020」に参加決定

2014年5月16-18日 欧州留学フェア、東京・京都開催。EU 域内 36 高等機関と 21 公的機関出展。来場者過去最高

2014年5月19日 EU 外務理事会、開発支援目標に関する年次報告書や人権に基づく開発協力方針など採択

2014年5月19日 EU・ロシア、天然ガス供給エネルギー閣僚会談。ウクライナ加えた三者会談に向け解決模索

2014年5月19-23日 TTIP(環大西洋貿易投資連携協定)第5回交渉、ワシントンで開催

2014年5月20日 シュヴァイスグート駐日 EU 大使並びに独・英駐日大使、欧州議会選挙に関する記者説明会

2014年5月20日 アシュトン EU 上級代表、タイでの戒厳令に対して早期選挙実施や民主的正統性確立促す声明

2014年5月20日 バローゾ委員長、途上国児童への予防接種活動 NGO の GAVI 同盟に毎年 2500 万ユーロ提供と発表

2014年5月20日 欧州委員会、英 HSBC・米 JP モルガンら 3 行が銀行間取引金利(RIBOR)不正操作の疑いで異議告知

2014年5月21日 欧州対外行動庁(EEAS)、ウクライナ最高会議の平和と協調に関する覚書採択を歓迎する声明

2014年5月21日 EU26 カ国代表(英・瑞除く)、単一銀行破綻処理基金(SRF)への拠出・相互化に関する協定調印

2014年5月21日 EU、ロシアによる独伊からの輸入車への反ダンピング課税に対して WTO を提訴

2014年5月21日 欧州委員会、重量車(HDV:トラック・バス・長距離バスなど)の CO2 抑制のための戦略を採択

2014年5月22日 欧州対外行動庁(EEAS)、タイのクーデターに対して憂慮と文民統制・民主主義遵守への声明

2014年5月22-25日 欧州議会選挙。第一党 EPP 大幅減、第二党 S&D 微減。英仏などで懐疑派躍進。投票率 43.09%

2014年5月23日 EU・韓国外相会談、ソウルで開催。EU・韓国危機管理活動参加枠組協定調印。北朝鮮問題協議

2014年5月24日 バローゾ委員長、ブリュッセルのユダヤ博物館発砲事件に対して哀悼と非難の声明発表

2014年5月25日 ウクライナ大統領選挙実施。翌日、ファン＝ロンパイ議長・バローゾ委員長、歓迎声明

2014年5月25日 欧州対外行動庁(EEAS)、ジブチでのテロ攻撃に対する非難とジブチ当局への協力支援の声明

2014年5月26日 欧州議会選挙を受け、独仏伊各国首脳、EU の雇用・成長促進の必要性を強調する意向表明

2014年5月26日 EU・ロ・ウクライナ三者エネルギー閣僚会談。EU 調停案提出も、ロシア・ウクライナ承認せず

2014年5月27日 欧州議会政治グループ代表者会合、次期欧州委員長選出に向けた対話と協議に関する声明

2014年5月27日 欧州理事会非公式夕食会開催。欧州議会選挙の協議と、ウクライナ大統領選挙に関する声明

2014年5月28日 欧州委員会、新欧州エネルギー安全保障戦略提示。供給源多様化・省エネ・政策調整など柱

2014年5月28日 欧州対外行動庁(EEAS)、タイ情勢に関して、政治的拘束者の解放や検閲停止要求などの声明

2014年5月30日 EU理事会、対シリア経済制裁を1年延長することを可決

2014年5月30日 EU・ロ・ウクライナ三者エネルギー閣僚会談。ウクライナ、7.86億ドル分をロシアに支払い

2014年5月30-6月22日 EUフィルムフェスティバル2014開催。23カ国の作品上映、うち長編7本・短編4本は日本初公開

【編集後記】

今回は、慶応義塾大学の田中俊郎名誉教授(ジャン・モネ・チェア、EUSI理事)に、先に行われた欧州議会選挙の評価と今後の予想される動きについて執筆していただきました。

田中先生は、いまさら繰り返すまでもなく、長年にわたって日本のEU研究を牽引してこられた方であり、欧州議会選挙の沿革やその制度についての解説もしていただきました。

今回の選挙は、極右や反EUの勢力が伸張する一方、統合支持派が従来どおり多数をしめるなど、現状が大きく変わるものではないようです。

しかし、地理的位置や加盟時期などを踏まえた各国の投票率や政党得票率を見ると、その状況は多様化しており、「まだら模様」の結果ということになるのかもしれませんが。各国の市民が現在の政治経済状況に対して抱いている不満を解消することの出来る人間(指導者)がいないという現実が、欧州議会の選挙の結果に色濃く反映されてきたことは間違いがないと思われま

私事で恐縮ですが、1993年から96年までの3年間、ほぼ毎月ストラスブールで欧州議会における本会議の議論をフォローしていたことがあります。マーストリヒト条約の発効後、共同決定手続きによる拒否権が実行される現場を見る機会もありましたが、当時はまだまだ欧州議会の権限は弱く、存在感も小さなものであったと記憶しています。その当時と比べると、欧州議会の権限が大幅に拡大し、日本のマスコミからもそれなりの注目を浴びるようになったということは、まさに隔世の感があります。しかし、欧州議会がEU全体のことを考える真のEUの議会でありうるのか、自分の周囲の利害関係のみを考えて行動する議員の集団になってしまうのか、その真価が問われるのはまさにこれからの5年間の活動にかかっていると思われま

6月14日(土)には、EUSI津田公開講座「欧州議会選挙と極右・欧州懐疑主義」が開かれます(於 津田塾大学小平キャンパス)。

気鋭の研究者による講演とディスカッションが予定されています。関心のある方は、こちらにもふるってご参加下さい。

(藤川哲史・EUSI・一橋大学・EUSIメールマガジン編集担当)

日本で映画といえばハリウッド映画や邦画や韓流などが人気だと思いますが、ヨーロッパ映画に関心のある方も多いかと思います。

最近印象深い作品としては「ハンナ・アーレント」(独仏ほか:2012年)が昨年岩波ホールで公開され、大変な話題を呼びました。ユダヤ系女性政治哲学者アーレントのアイヒマン裁判を題材にした映画で、現在も全国の単館系で公開されています。最近矢野久美子教授の手による彼女の評伝が中公新書より刊行されましたが、時機を得た好著で合わせて読まれることをお勧めします。

同じ岩波ホールですが、4月より「フレサ 連帯の男」(ポーランド:2013年)が上映されました。一人の凡庸な労働者だったフレサを家庭の視点から描きつつ、彼が連帯を率いてゆく過程を追っています。折しも先月5月25日には彼を弾圧した共産主義政権最後の指導者であるヤルゼルスキ元大統領の死去の報が届き、

ワレサ氏も葬儀で哀悼を捧げている様子が映っていました。
そのような中で、先日より EU 各加盟国の優れた名作を上映する「EU フィルム
デーズ 2014」が始まりました。2003 年以来今年で 12 回目を迎えるこの映画祭も
ヨーロッパ映画の奥の深さを知る大変貴重なイベントとして愛されています。
日本で公開されていない名作の数々をわずか 520 円(学生ですと 310 円)で楽しむ
ことができる、大変お得なイベントです。東京では 6 月 22 日まで、その他に高松
や岡山・福岡などでも上映される予定です。
そのようなヨーロッパ映画の世界ですが、最近ヨーロッパ映画・文学論専門の
狩野良規教授が『ヨーロッパを知る 50 の映画』(国書刊行会)という本を、4 月に
刊行されました。ゴダール「勝手にしやがれ」(仏:1959 年)や、ヴィスコンティ
「ベニスに死す」(伊仏:1971 年)や、前述「ワレサ」の監督でもあるワイダ
「灰とダイヤモンド」(ポーランド:1958 年)など、ヨーロッパを代表する歴史的
な名作 50 作品を、それぞれ詳細な作品内容を付けて紹介しています。
「ハリウッドがアメリカの夢を語るなら、ヨーロッパ映画は自分たちの現実に
根ざすことを善しとする傾向がある」と著者は語ります。そんな豊潤で美しく
味わいあふれるヨーロッパ映画の世界に触れてみるのもよいかもかもしれません。

EU フィルムデーズ 2014

<http://www.eufilmdays.jp/>

狩野良規『ヨーロッパを知る 50 の映画』(国書刊行会、2014 年)

<http://www.kokusho.co.jp/np/isbn/9784336057839/>

(林 大輔・EUSI 慶應分室・EUSI メールマガジン編集担当)

EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo

〒186-8601 東京都国立市中 2-1

一橋大学 マーキュリータワー#3504 EUSI 事務局

TEL: 042-580-9117 / E-mail: info@eusi.jp

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての
問い合わせにつきましてはこちら

E-mail: info@eusi.jp
